

## AutoRevison 変換処理のサンプル画像

### ①変換元ファイル画像



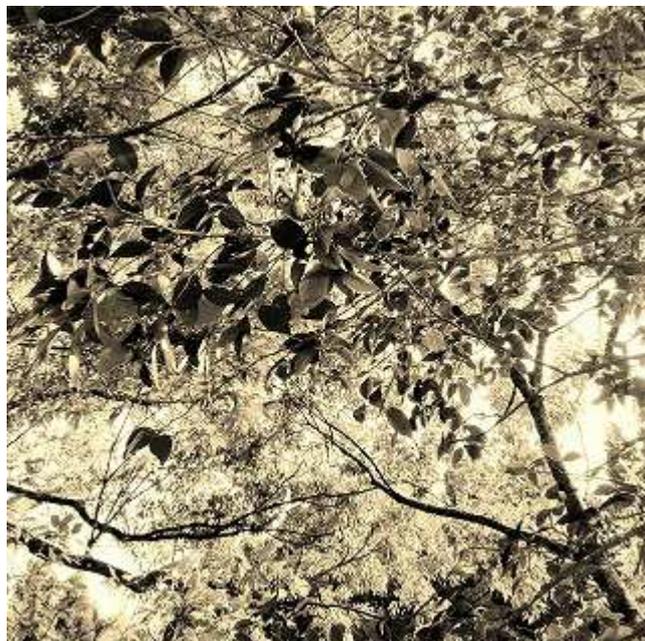
### ②明るさ自動補正後の画像



③グレースケール変換後の画像



④セピア色変換後の画像



---

「AutoRevison (写真の明るさ自動補正) - Ver 1.0」by takuonly

機能概要: 任意の写真画像ファイル(JPG,BMP,PNG)をもとに  
写真の明るさ自動補正とグレースケールやセピア色にも加工し  
画像ファイル(JPEG ファイル)の生成を行います。

カテゴリー: 画像 & サウンド

---

#### ■はじめに

このドキュメントは「AutoRevison - Ver 1.0」に関する説明です。

任意の画像ファイル(JPG,BMP,PNG)をもとに  
明るさの自動補正を行い、グレースケールやセピア色にも変換でき  
画像ファイル(JPEG ファイル)の生成を行います。

簡単な使用方法につきましては取扱説明書(AutoRevison.pdf)をご覧ください。

#### ■動作環境

日本語 Microsoft Windows Vista 以上 (Vista,7,8,8.1 に対応)  
Microsoft .NET Framework 4.5 が必要

#### ■インストール方法

AutoRevison.zip(圧縮ファイル)を解凍後、  
AutoRevison フォルダーごと適当な箇所へコピーして  
AutoRevison.exe を起動してください。

Microsoft .NET Framework 4.5 が必要ですのでご使用のパソコンに入っていない時はインストール前に下記のページからダウンロードして先に.NET Framework4.5 を セットアップしてください。

Microsoft .NET Framework 4.5 ダウンロードページ  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=30653>

## ■アンインストール方法

AutoRevison フォルダごと削除して完了です。

## ■機能紹介

### 1.画面項目の説明

- (1)[バージョン情報] . . . 本ソフトのバージョン情報を表示します。
- (2)[ヘルプ] . . . 取扱説明書(AutoRevison.pdf)を表示します。
- (3)[終了] . . . 本ソフトを終了します。

### 2.簡単な使用方法

- (1)変換したいモードを各ラジオボタンで指定します。(\*1)
  - (2)黄色エリアの箇所へ変換したい写真データファイルをドラッグ & ドロップします。  
尚、複数ファイル指定のドラッグ & ドロップも可能です。
  - (3)変換後のファイル名は変換元ファイル名の前に"AR\_"と付加され変換元ファイルと同一のフォルダーへ出力します。(\*2)(\*3)(\*4)  
(ex:変換元ファイル名[camera001.jpg]  
→ 変換後ファイル名[AR\_camera001.jpg])
- (\*1)画像の撮影状態等により思うような変換結果が得られない場合があります。
- (\*2)変換後の出力ファイル形式は JPEG 形式固定です。
- (\*3)既に変換後ファイルが存在する場合は2回目以降は上書きされます。
- (\*4)変換出来ない画像形式のファイルが指定された場合は無視されます。

#### ■著作権／転載／免責に関して

このソフト「AutoRevison」に関するアプリケーション及び  
それに関わるデータの著作権は全て、作者の”takuonly”が所有します。

尚、本ソフトはフリーウェアです。

また、転載及び配布を行う際には事前に作者に連絡を行って  
下さい。

本ソフトに関するご感想・ご意見・ご要望・バグなどございましたら、  
下記のページのブログサイトの[オーナーメッセージ]を送るボタンから  
メールをお願いいたします。

作者ホームページ URL : <http://www.takuonly.net/>

このプログラムの使用によって生じた損害等については  
作者は何も保証する義務を負わない事とさせていただきます。

#### ■開発環境

Microsoft Visual C# 2013 Express for Desktop で開発  
画像処理ライブラリーは OpenCv & OpenCvSharp を主に使用

#### ■更新履歴

AutoRevison Ver 1.0 by takuonly

- ・初回リリース(2015/02/14)

---

以上です。

2015/02/14 written by takuonly.